

よもの読み物 まつりをつたえる人^{ひと}

なごやし だし で
名古屋市には山車が出るまつり
がいくつもあります。その中のひ
なかつ、中村区^{なかむらく}の「花車神明社祭」^{はなぐるましんめいしゃさい}
は10月におこなわれます。

だし ほぞんかい
まつりにかかわる山車保存会の
ながたてつや はなし き
永田哲也さんにお話を聞きました。



まつりのみどころは？

みどころはたくさんありますが、やっぱり山車に乗っているからくり
にんぎょう かみさま にんぎょう
人形です。「えびす」と「だいこく」という神様の人形がいきいきと

うご
動きます。

また、子どもからおと
なまで、みんなで力を合
わせておまつりをしている
ところも、ぜひ見てほしい
です。



だし ほうこう
山車が方向をかえるとき
は、8 ^{にん おとこ}人の男の人がかつ
いで、山車を持ち上げま
す。この役は、^{やく}力と^{ちから}わざ
がひつようです。そのため、
まつりをする人たちのあこ
がれのそんざい^{ひと}です。



まつりをつたえるうえで、大切なことはなんですか？

おまつりに使う物はのこるけれど、まつりをうけついできた^{きも}気持ち
はうけついでいかないとのこりません。^{こころ}心がいちばん^{たいせつ}大切です。
わたしたちのまつりは^{すく}少なくとも200^{ねん}年ずつつづいています。せん
ぱいたちがやってきたことを、きちんとつたえていきたいです。

メッセージをどうぞ

おかしはにぎやかでしたが、^{いま}今では^すまちに住む人が^{ひと}少なくなって、
^{あつ}いろいろなところの人が集まって山車を動かしています。
みなさんには、まつりを見るだけ、山車を^みひっぱる手つ^{だし}ただい^てだけ
でもいいので、まつりに^あさんかしてほしいです。そうするとまつりが^あも
り^{おも}上がります。そして、まちももり上がって^あいけるといいなと思います。